

日本環境教育学会「地域環境教育活性化プロジェクト」および公害資料館ネットワーク

協働研究会

「公害と差別のかかわりについて考える」

昨年度の本研究会では、ポスト3.11の日本社会において、新たに公害教育に取り組み始めた若い世代の教育者の方から実践報告をいただきました。本年は「公害と差別」との関わりについて考えます。

各地の公害教育の実践が人権教育の枠組みで行われているように、公害に関わる差別については、これまでも教育現場で問題となってきました。そして新たに、福島第一原発事故の影響で、福島県出身者や避難者たちへの差別的な言動が問題となっています。

では、公害に関わって起きる差別とは、どのようなものでしょうか。また、人権教育は、差別に対してどのような展開をしているのでしょうか。2つの報告を受け、議論します。ぜひご参加ください。

日時：2017年10月29日（日）9：30～12：30

会場：学習院大学 北一号館2F 模擬授業教室

東京都豊島区目白 1-5-1 (JR「目白」駅より1分、東京メトロ副都心線「雑司ヶ谷」駅より7分)

参加対象：日本環境教育学会会員および公害資料館ネットワーク関係者（セミクローズ）

報告：「環境教育学会プロジェクト研究『原発事故後の福島を考える』について（仮）」

朝岡幸彦（東京農工大学農学研究院）

日本環境教育学会は、福島第一原発事故の直後からワーキンググループを発足し、原発事故によって避難している子どもたちが「いじめ」られることのないように、授業案の作成に取り組みました。この流れを受け、現在も取り組まれているプロジェクト研究について報告を受けます。

報告：「公害と差別のかかわりについて一逆差別論・新しいレイシズムの視点から」

内田龍史（尚絅学院大学）

環境社会学等で取り組まれてきた、公害と差別に関連する社会学研究について情報提供していただきます。また、部落差別をはじめとした差別問題について取り組んでこられた立場から、逆差別論や新しいレイシズム、人権学習の展開などについても参照しながら、問題意識をご報告いただきます。

担当委員：高田研（都留文科大学）、西村仁志（広島修道大学）、安藤聡彦（埼玉大学）

*資料準備等の都合上、参加ご希望の方は事前に下記、事務局までお申し込みください。

【申し込み・問い合わせ先】

公害資料館ネットワーク kougai.info

事務局：公益財団法人公害地域再生センター（あおぞら財団）

担当：栗本知子、林美帆

E-mail=kurimoto@aozora.or.jp

TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885